

学校教育目標	主体的に学び、協働的に高め合う子どもの育成
育成を目指す資質・能力	主体性 協働性

	学力状況について	学習状況について
児童生徒の課題	<b>各種学力調査の分析結果から明らかになった課題</b> ・基礎的、基本的な学力の定着の個人差が大きい。 ・必要な情報を取捨選択しながら問題を読み取ることが難しい。 ・学習したことを、生活経験と結び付けることができていない。	<b>各種学力調査の分析結果から明らかになった課題</b> ・目的や条件に合った内容を記述することが苦手である。 ・発言する児童が固定化している。 ・指示されたことは努力できるが、主体性や積極性が十分ではない。 ・基礎的な繰り返し学習ややり直しに対しての取り組み方に個人差がある。
	<b>これまでの学力向上の取組に対する児童生徒の状況(授業及び授業以外の側面から)</b> ・学力、発信力の個人差が大きい。 ・自分の考えを積極的に全体に話すこと、目的や条件に応じて考えを記述することが苦手である。 ・自らの課題を意識し、問題解決に向けて粘り強く学び続けようとする力に個人差がある。 ・学びを他の学びへ生かそうとする意識に個人差がある。	
指導の状況	<b>1 組織的な授業改善の取組状況</b> ・「つけたい力」を明確にして、主体性や協働性を育む授業計画(教材研究)を実施 ・視点を意識した「振り返り」の実施と評価 ・板書の構造化を図り、「めあて」「課題」「まとめ」「振り返り」を意識した授業の実践 ・校内研の検証授業を見る視点を3つ設定し、その視点に基づく授業実践と検証の実施、成果と課題の共有 <b>2 その他の学力向上に向けた指導の取組状況</b> ・「書く」活動を意識化し、週末等にテーマ作文の取組と指導 ・「算数科」を中心とした学習内容の定着を図るための習熟の時間の設定 ・タブレットのアプリを活用した個別学習や、ロイノートの共有による多様な見方、考え方の育成	

学力に関する達成指標

アンケートで「自分の考えをもち、友だちと考えを交流することができた」と回答する児童 85%以上

今後の具体的な取組	【授業改善】	【家庭・地域との協働】
	<b>〈授業改善のテーマ・重点〉</b> 主体的に学び、協働的に高め合う子どもを育む授業づくり	
	<b>〈取組内容〉</b> 1)つけたい力を明確にし、子どもの思考に沿った板書の構造化を図る 2)子どもの意欲を高める課題を設定し、主体的・協働的に解決していく学習活動の充実を図る 3)授業(単元)の終末に、視点(つけたい力)を意識した振り返りを位置付け、適切な評価を行い、学びの充実を図る	<b>〈家庭・地域の取組内容〉</b> 1)家庭学習の定着を図る 2)家族みんなで「メディア減」に取り組む 3)「あいさつ」の気持ちよさを伝える
	<b>〈取組指標〉</b> 1)「つけたい力」を明確にし、主体性や協働性を育む授業づくりに取り組む教員 100% 2)進んで子どもたちが解決に向かう授業の実現のための、課題や学びの手立てを工夫した教員 100% 3)授業(単元)の終末に、視点(つけたい力)を意識した振り返りを書く活動等を取り入れ、適切な評価を行った教員 100%	<b>〈家庭・地域の取組指標〉</b> 1)「お子さんは進んで家庭学習に取り組んでいる」と回答する保護者 80%以上 2)「家庭でゲームやインターネットなどのルールを決めて使わせている」と回答する保護者 80%以上 3)「お子さんは家庭や地域で進んであいさつをしている」と回答する保護者 80%以上
	<b>〈検証指標〉</b> 1)児童アンケートで、「授業がわかり、進んで学習することができた」と回答する児童 90%以上 2)児童アンケートで、「いろいろな学習問題について、粘り強く考えることができた」と回答する児童 90%以上 3)児童アンケートで、「テーマに合わせて自分の学んだことや友だちと学び合ったことについて振り返ることができた」と回答する児童 90%以上	<b>〈家庭・地域の検証指標〉</b> 1)「お子さんは進んで家庭学習に取り組んでいる」と回答する保護者 80%以上 2)「家庭でゲームやインターネットなどのルールを決めて使わせている」と回答する保護者 80%以上 3)「お子さんは家庭や地域で進んであいさつをしている」と回答する保護者 80%以上
<b>【授業改善以外の学力向上の取組】</b> ①学校・学級による指導の個別化 ②デジタルドリル等のタブレット学習を活用した学習の個性化 ③思考力・判断力・表現力を育む学習指導と実践 ④交換授業・専科等による教材研究の充実		